

ノロウイルス対策

1. ノロウイルス感染症の特徴

発症時期：冬（11月～4月）

主な症状：吐き気、嘔吐、下痢

感染経路：

（1）経口

- ・生や、生の状態に近い二枚貝を食べた場合
- ・ウイルス感染者によって調理された食べ物を摂取した場合

（2）接触・飛沫

- ・ノロウイルスに汚染された指、物品等に触れた場合
- ・感染者から排出された吐物・下痢便等を不適切に処理した場合



非常に強い感染力を持つノロウイルスを寄せつけないためには

正しく手洗いすることが重要です！

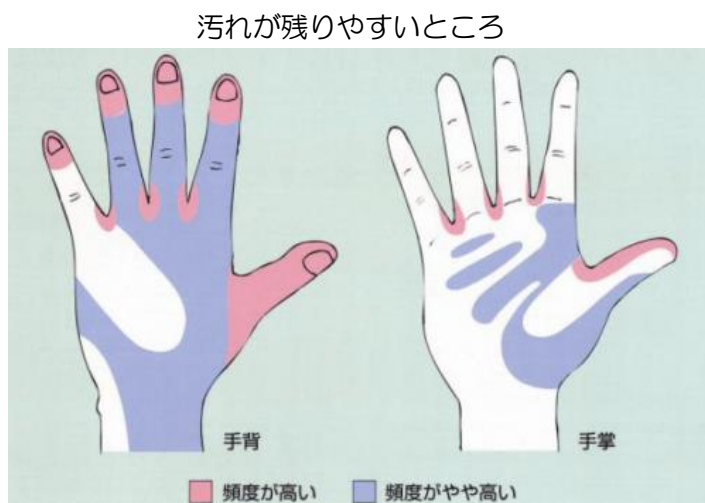
2. 正しい手洗い

いつ実施する？

- トイレの後
- 食品を取り扱う前
- 食事の前
- おむつ替えの後
- 吐物を処理した後

ポイント

- ★手洗い前に指輪や時計を外しておく
- ★石けんを泡立て、30秒程度時間をかけて丁寧に洗う
- ★流水で洗い流した後は、清潔なタオルやペーパータオルで手を拭く



出典：広島県ホームページ



30秒の目安の曲



童謡「ぞうさん」1・2番

森山直太郎「さくら」サビだけ

坂本九「上を向いて歩こう」1番だけ

汚れが残りやすいところは
入念に洗うようにしましょう！

3. 感染源への対応（有効な消毒薬の作り方）

★ノロウイルスには「次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤：ハイター、ブリーチ等）」

による消毒が有効です！

使用場所	希釈	希釈方法
ドアノブ、手すりなど、感染者が触れた場所・物	250倍	家庭用塩素系漂白剤 10ml（ペットボトルのキャップ2杯分）＋水 2.5L（500mlのペットボトル5本分）
嘔吐物、便等が直接付着した場所・物	50倍	家庭用塩素系漂白剤 10ml（ペットボトルのキャップ2杯）＋水 0.5L（500mlのペットボトル1本分）

注意事項

- ・作業時はエプロン、マスクと手袋を使用し換気を十分に行う
- ・作業後の手袋やペーパータオル等はビニール袋に入れて捨てる
- ・消毒液は作り置きせず、消毒時にその都度作る



出典：横浜市ホームページ

参考ホームページ

国立感染症研究所 感染症情報センター ノロウイルス感染症

<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-b.html>

広島市 手洗いはきちんとできていますか？～ノロウイルス対策

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/168/tearai.html>

横浜市 結核・エイズ・その他感染症・予防接種

https://www.city.yokohama.lg.jp/nishi/kurashi/kenko_iryoyobosesshu/kekaku-aids.html